

[東京工業大学 1997 年後期 1]



放物線 $y = x^2$ を C_1 とし、 C_1 上に両端をもつ長さ 1 の線分の中点の軌跡を C_2 とする。

C_1, C_2 および、2 直線 $x = \pm a$ ($a > 0$) で囲まれる部分の面積を S_a とするとき、 $\lim_{a \rightarrow \infty} S_a$ を求めよ。



$C_1: y = x^2$ 上に、 $PQ = 1$ となるように 2 点 $P(t, t^2), Q(s, s^2)$ をとる。

また、 P, Q の中点を $R(X, Y)$ とすると

$$X = \frac{s+t}{2}, Y = \frac{s^2+t^2}{2} \dots \textcircled{1}$$

$$PQ = \sqrt{(s-t)^2 + (s^2-t^2)^2} = 1 \text{ より}$$

$$(s-t)^2 + (s^2-t^2)^2 = 1 \Leftrightarrow (s-t)^2 + (s-t)^2(s+t)^2 = 1$$

$$\Leftrightarrow (s-t)^2 \{1 + (s+t)^2\} = 1$$

$$\Leftrightarrow (s^2 + t^2 - 2st) \{1 + (s+t)^2\} = 1 \dots \textcircled{2}$$

となる。

①より $s+t = 2X, s^2+t^2 = 2Y$ なので $s^2+t^2+2st = 4X^2$ から

$$st = 2X^2 - Y \dots \textcircled{3}$$

したがって、①、②、③より

$$(2Y - 4X^2 + 2Y)(1 + 4X^2) = 1 \Leftrightarrow Y = \frac{1}{4(1+4X^2)} + X^2$$

これが C_2 の方程式である。

$$\begin{aligned} \text{よって } S_a &= \int_{-a}^a \left\{ \frac{1}{4(1+4x^2)} + x^2 - x^2 \right\} dx \\ &= \frac{1}{2} \int_0^a \frac{1}{1+4x^2} dx \end{aligned}$$

となる。

ここで、 $2x = \tan \theta$ とおくと $2dx = \frac{1}{\cos^2 \theta} d\theta$ であり、

$2a = \tan \alpha$ を満たす α $\left(0 < \alpha < \frac{\pi}{2}\right)$ をとれば

$$\begin{aligned} S_a &= \frac{1}{2} \int_0^\alpha \frac{1}{1 + \tan^2 \theta} \cdot \frac{1}{2 \cos^2 \theta} d\theta \\ &= \frac{1}{4} \int_0^\alpha d\theta \\ &= \frac{1}{4} \alpha \end{aligned}$$

$a \rightarrow \infty$ のとき $\alpha \rightarrow \frac{\pi}{2}$ であるから

$$\lim_{a \rightarrow \infty} S_a = \lim_{\alpha \rightarrow \frac{\pi}{2}} \frac{1}{4} \alpha = \frac{\pi}{8} \text{ となる。}$$

[東京工業大学 1997 年後期 2]



四辺形 $ABCD$ と頂点 O からなる四角錐を考える。5 点 A, B, C, D, O の中の 2 点は、ある辺の両端にあるとき、互いに隣接点であるという。

今、 O から出発し、その隣接点の中から 1 点を等確率で選んでその点を X_1 とする。次に X_1 の隣接点の中から 1 点を等確率で選びその点を X_2 とする。この様にして順次 $X_1, X_2, X_3, \dots, X_n$ を定めるとき、 X_n が O に一致する確率を求めよ。



$X_n = O$ となる確率を p_n とおく。

$X_{n+1} = O$ となるのは n 回目に O 以外の点にいて、その後に確率 $\frac{1}{3}$ で O に移動する場合であるから

$$\begin{aligned} p_{n+1} &= \frac{1}{3}(1 - p_n) \\ &= -\frac{1}{3}p_n + \frac{1}{3} \end{aligned}$$

が成り立つ。また、 $p_1 = 0$ である。

この漸化式を解くと

$$\begin{aligned} p_n &= \frac{\frac{1}{3}}{1 - \left(-\frac{1}{3}\right)} + \left(0 - \frac{\frac{1}{3}}{1 - \left(-\frac{1}{3}\right)}\right) \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} \\ &= \frac{1}{4} - \frac{1}{4} \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} \end{aligned}$$

となる。これが求める確率である。